



空知の農業

2023

令和5年（2023年）6月
北海道空知総合振興局

空知の農業2023 目次

1	空知の概況	
	(1) 位置	1
	(2) 人口及び産業	1
	(3) 土壌	1
	(4) 気象	2
2	空知の農業の概要	3
3	農業構造	
	(1) 農家戸数と就業構造	5
	(2) 耕地面積	5
	(3) 農地の権利移動	5
4	農業の担い手	
	(1) 新規就農者	6
	(2) 認定農業者	6
	(3) 農業生産法人	6
	(4) 指導農業者・農業士	7
	(5) 農村女性グループ	7
	(6) 青年農業者	7
5	主要農産物の生産等の動向	
	(1) 水稲	8
	(2) 小麦	9
	(3) 大豆	9
	(4) そば	9
	(5) 野菜	10
	(6) 花き	11
	(7) 果樹	11
	(8) 酪農・畜産	12
	(9) 鳥獣被害防止対策	12
6	食の安全・安心	
	(1) 北のクリーン農産物表示制度 (YES! Clean)	13
	(2) 北海道らしい食づくり名人	13
	(3) エコファーマー	13
	(4) 環境保全型農業	13
7	農村振興等の概要	
	(1) 農業農村整備の概要	14
	(2) 空知管内の道営農業農村整備事業	14
	(3) 中山間地域等直接支払制度の概要	15
	(4) 多面的機能支払交付金の概要	15
	(5) 農村ツーリズム	15
8	農業関係団体	
	(1) 市町及び農業委員会	16
	(2) 農業協同組合	16
	(3) 農業共済組合	16
	(4) 土地改良区	16
9	農業関係機関	
	(1) 空知農業改良普及センター	17
	(2) 空知家畜保健衛生所	17
	(3) 耕地出張所	18
	(4) 北海道立総合研究機構	18

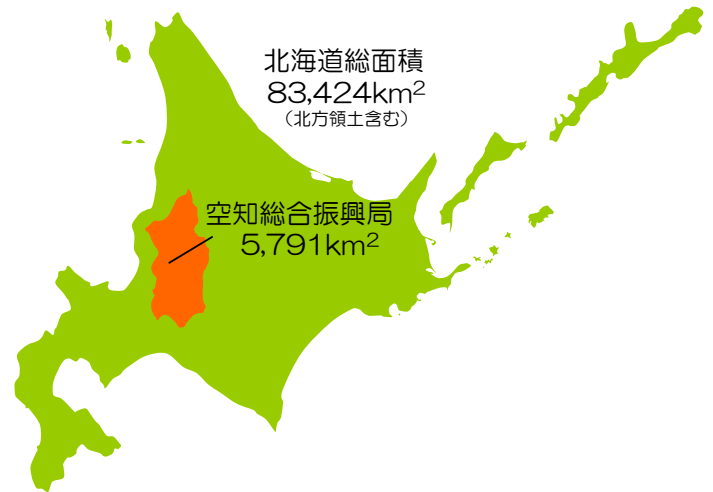
1 空知の概況

(1) 位置

空知総合振興局は、北海道の中央部よりやや西方に位置し、東西約70km、南北約130kmに及び広大な内陸地帯で、中央を石狩川が縦走り、南西部にかけて豊かな石狩平野が広がっています。日本海側気候に属するため、冬季は降雪量、積雪量ともに多く、道内屈指の豪雪地帯として知られています。

10市14町で構成されており、総面積は約5,791km²と全道の約7%を占め、石狩・胆振・上川・留萌の各総合振興局・振興局と境界を接しています。

札幌圏と旭川圏の間に位置することから、そのいずれからも気軽に訪れることのできる観光圏です。

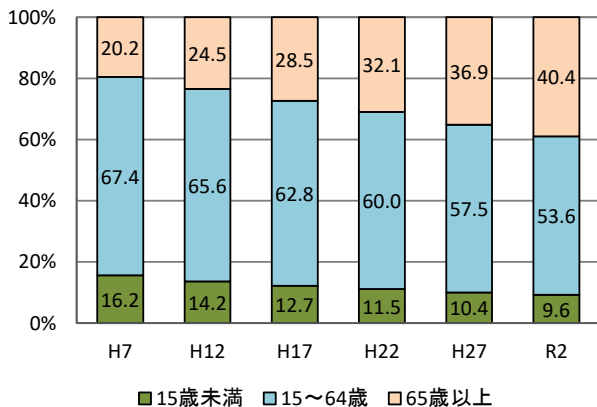


(2) 人口及び産業

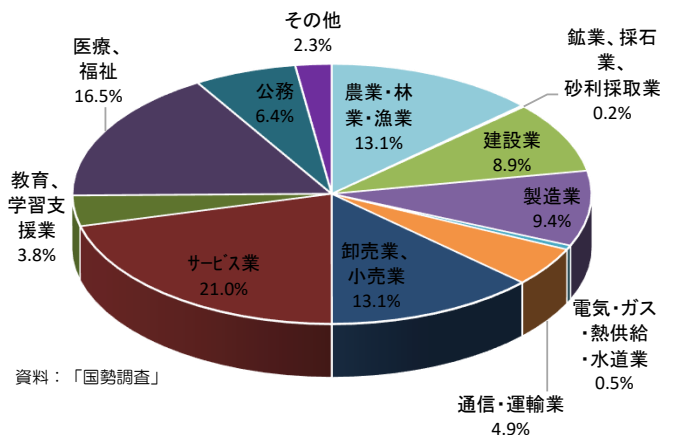
管内の人口は、昭和35年をピークに減少し続けており、令和2年は約28万2千人となっています。年齢別人口で見ると、管内の高齢人口（65歳以上の人口、令和2年国勢調査）は40.4%と、14振興局中、檜山振興局に次いで2番目に高くなっています。

また、就業者の産業別構造（令和2年国勢調査）では、「サービス業」が21.0%と最も高く、次いで「医療、福祉」が16.5%、「農業・林業・漁業」「卸売業、小売業」が13.1%となっています。

空知管内の年齢別人口割合



空知管内の就業者の産業別構造(令和2年)



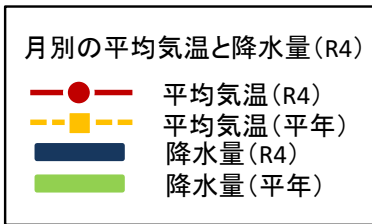
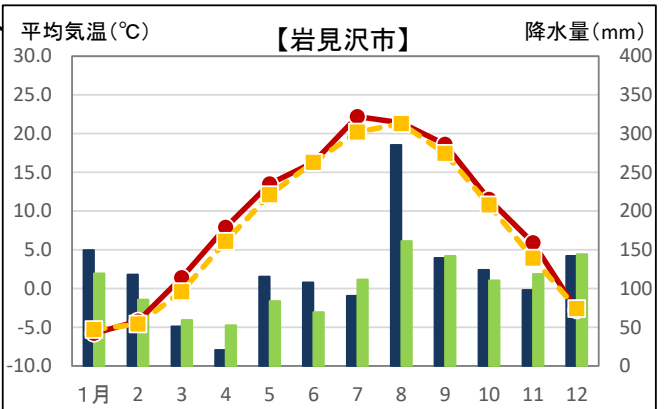
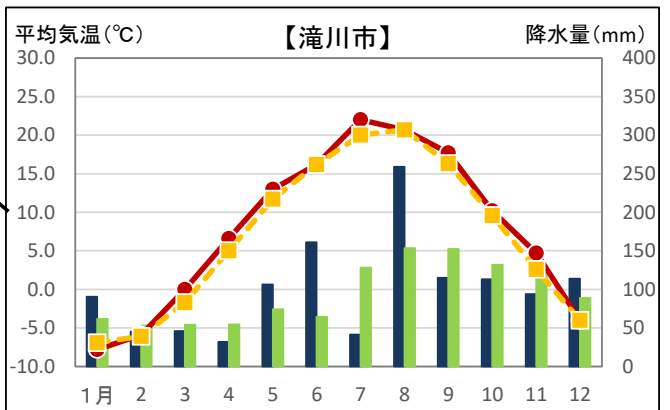
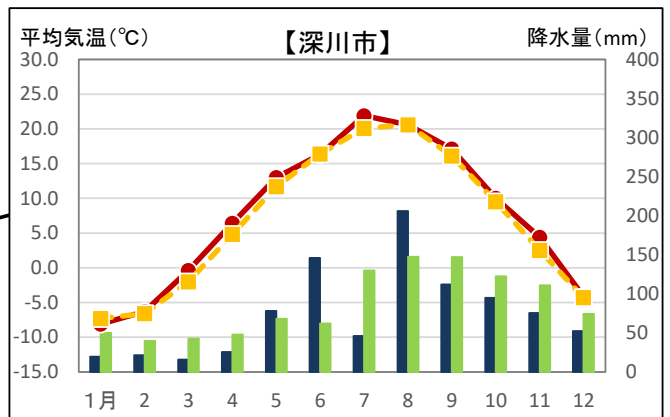
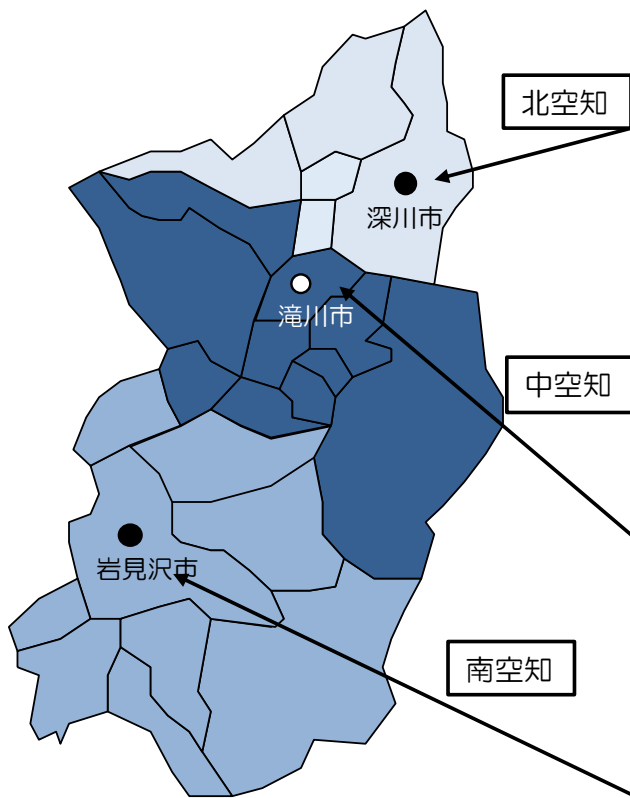
(3) 土壌

空知管内の中央低地部地帯は強粘質の沖積土が主体で、さらに泥炭土が入り込んで分布していることから、排水不良地が多くあります。

北部の石狩川及び空知川の両岸には、砂質系の沖積土が農耕地の大部分を占めており、その周辺部には粘土質の低地土が大きく広がっています。

南部の夕張川沿いには排水の良い砂質系沖積土が分布し、南端では火山性土も見られます。

(4) 気象



○ 平年値の主な要素

	降水量 (mm)	気温			日照時間 (時)	最深積雪 (cm)
		平均 (°C)	日最高 (°C)	日最低 (°C)		
岩見沢市	1,248.5	7.9	12.4	3.8	1,697.1	120
滝川市	1,156.0	7.0	11.8	2.3	1,551.6	114
深川市	1,044.2	6.8	11.7	1.8	1,560.0	111
札幌市 (参考)	1,146.1	9.2	13.1	5.7	1,718.0	97
東京都 (参考)	1,598.2	15.8	20.3	12.1	1,926.7	6

資料: 気象庁「過去の気象データ」

平年値の統計期間は1991～2020の30年間

2 空知農業の概要

空知地域は、豊かな水資源と広大な農地を活用し、全道一の作付けを誇る稲作を主体にして、小麦・大豆など土地利用型の畑作や野菜・花きなどの園芸を取り入れた多様な農業が展開されています。

管内の農業産出額は1,019億円（R3）で、米の割合が最も高く455億円（全道1位）、次いで野菜が251億円、畑作が130億円、畜産が112億円、花きが44億円（全道1位）となっています。

○ 北海道農業に占める空知農業の割合

区分	単位	空知		北海道		対北海道比 (A/B)	調査 年次
		数値(A)	構成比	数値(B)	構成比		
総土地面積	ha	579,159	—	8,342,381	—	6.9%	R4
耕地面積	ha	113,500	100%	1,141,000	100%	9.9%	R4
田		91,000	80.2%	221,600	19.4%	41.1%	
畑		22,500	19.8%	919,900	80.6%	2.4%	
総農家数	戸	6,600	100%	37,594	100%	17.6%	R2
販売農家		5,596	84.8%	32,232	85.7%	17.4%	
自給的農家		1,004	15.2%	5,362	14.3%	18.7%	
主要作物作付面積	ha	—	—	—	—	—	—
水稲		39,500	—	93,600	—	42.2%	R4
小麦		22,100	—	130,600	—	16.9%	R4
大豆		10,500	—	43,200	—	24.3%	R4
そば		6,720	—	24,000	—	28.0%	R4
野菜類		3,482	—	43,172	—	8.1%	R3
花き(切り花)		190	—	383	—	37.4%	R3
農業産出額	億円	1,019	100%	13,108	100%	7.8%	R3
米		455	44.7%	1,041	7.9%	43.7%	
麦類		68	6.7%	512	3.9%	13.3%	
雑穀・豆類		51	5.0%	368	2.8%	13.9%	
いも類		3	0.3%	722	5.5%	0.4%	
野菜		251	24.6%	2,094	16.0%	12.0%	
果実		11	1.1%	77	0.6%	14.3%	
花き		44	4.3%	131	1.0%	33.6%	
工芸作物		7	0.7%	465	3.5%	1.4%	
その他作物		2	0.2%	45	0.3%	4.9%	
畜産		112	11.0%	7,652	58.4%	1.5%	
肉用牛		32	3.1%	1,131	8.6%	2.8%	
乳用牛		31	3.0%	4,976	38.0%	0.6%	
生乳		21	2.1%	4,069	31.0%	0.5%	
豚		0	0.0%	512	3.9%	0.0%	
鶏	6	0.6%	383	2.9%	1.6%		
その他	2	0.2%	649	5.0%	0.3%		

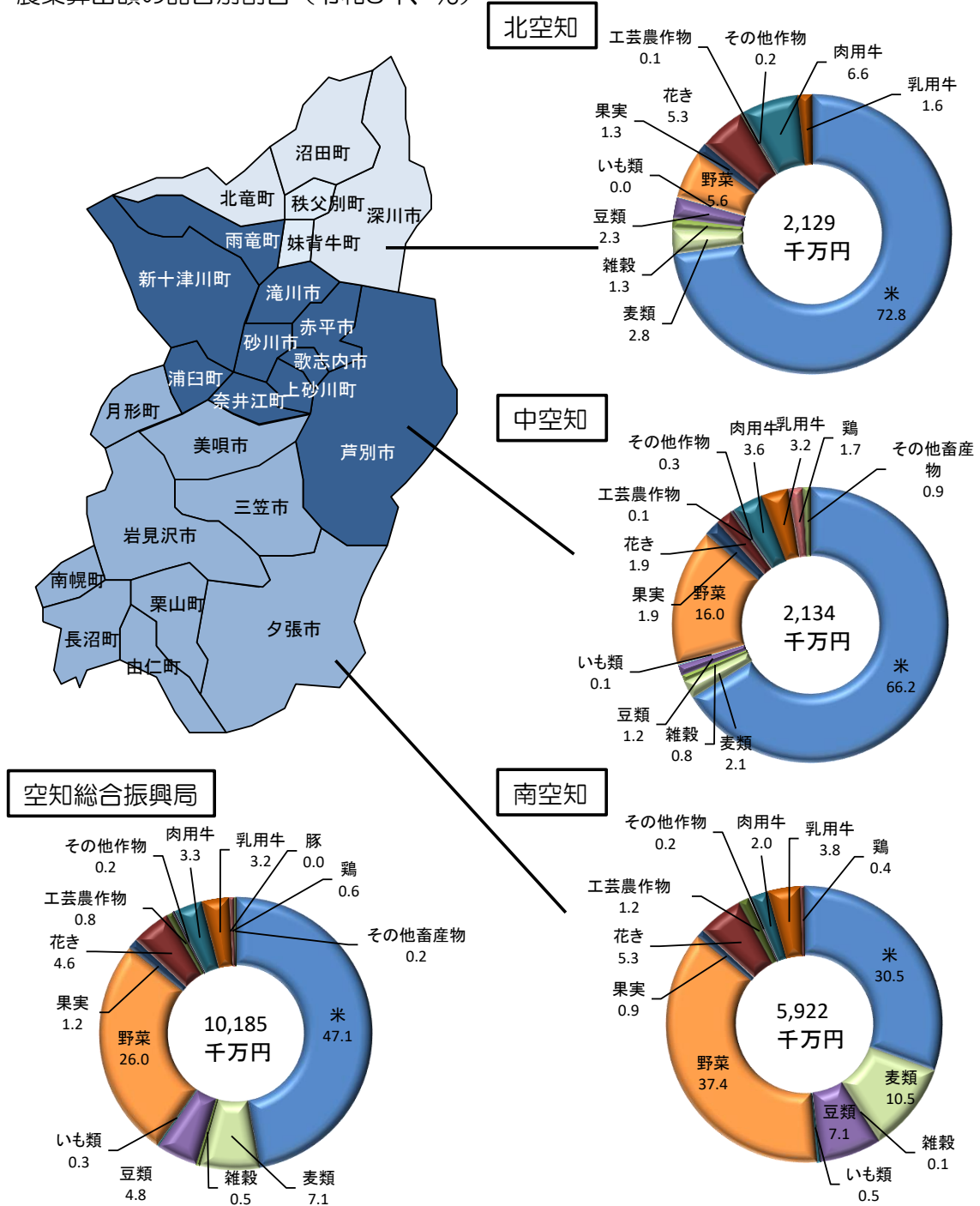
資料：総土地面積/国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調べ」、耕地面積/農林水産省「耕地及び作付面積統計」
総農家数/農林水産省「農林業センサス」、主要作物作付面積/農林水産省「北海道農林水産統計年報」※花きのみ
北海道農政部「花き産業振興総合調査」、農業産出額/農林水産省「生産農業所得統計」

※四捨五入により、合計と内訳の計が一致しないことがある。

○ 地域別農業の特色

南空知地域 (夕張市、岩見沢市、三笠市、美瑛市、由仁町、栗山町、長沼町、南幌町、月形町)	水稲を基幹作物として発展してきましたが、転作が進み、ほとんどの市町で転作率が5割を超えます。転作作物として、小麦、大豆、てんさい等の畑作物、たまねぎ、ブロッコリーなどの露地野菜、施設園芸のトマトや花きなど多種多様な作物が栽培され、特に野菜は農業産出額の4割を占めます。
中空知地域 (滝川市、赤平市、砂川市、芦別市、雨竜町、新十津川町、奈井江町、上砂川町、歌志内市、浦臼町)	水稲を基幹作物として、水田転作畑で小麦、大豆、そば、なたね、畑地で馬鈴しょ、かぼちゃ、たまねぎ、トマトや花きなどとの複合経営が多い地域です。また、果樹や酪農、肉牛等を主とする経営も含め多様な経営が営まれています。
北空知地域 (深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町)	水稲を中心とする農業が展開され、畑作と野菜・花きなどの施設園芸作物との複合経営を主とする地域です。水稲は農業算出額の7割を占め、米の主産地としてクリーン栽培米や特別栽培米等の生産などにも取り組んでいます。

○ 農業算出額の品目別割合（令和3年、％）



区分	空知総合振興局			
		南空知	中空知	北空知
農家戸数(R2)	6,600 戸	3,578 戸	1,671 戸	1,351 戸
耕地面積(R4)	113,500 ha	62,836 ha	25,379 ha	25,350 ha
農業算出額(R4)	10,185 千万円	5,922 千万円	2,134 千万円	2,129 千万円
うち米	4,547 千万円	1,687 千万円	1,348 千万円	1,512 千万円
うち畑作	1,296 千万円	1,071 千万円	88 千万円	137 千万円
うち野菜	2,510 千万円	2,068 千万円	326 千万円	116 千万円
うち花き	443 千万円	294 千万円	110 千万円	39 千万円
うち酪農・畜産	1,121 千万円	671 千万円	281 千万円	169 千万円

資料：耕地面積/農林水産省「耕地及び作付面積統計」、農業産出額/農林水産省「生産農業所得統計」

注1) 農業算出額の「うち畑作」は麦類・雑穀・豆类・いも類・工芸作物、「うち酪農・畜産」は肉用牛・乳用牛・豚・鶏・その他畜産物

注2) ラウンドの関係で、空知と各地域の合計は必ずしも一致しない。